

太田西ノ内病院 PT 部門 新人教育体制

当院では各領域の認定理学療法士や各種資格をもった経験豊富なスタッフが中心になり、組織的な新人教育を行っています。

新人職員の皆様が、独立して臨床業務を行えるようにサポートさせていただきます。



【新人職員研修の概要】

▶入職後の動き（4月）

0. 辞令交付式

1. 法人研修（新人職員全体研修）

- ✓ 新人職員スタッフの全体交流
- ✓ 法人に関すること
- ✓ 社会人として 太田総合病院の職員としての心構えなど、多くのことを学びます。



辞令交付式の様子

2. 新人職員（PT、OT、ST） 合同教育研修（西ノ内病院・熱海病院・老健桔梗）

〈研修内容〉 * 2週間程度かけて行ないます（4月中）

- ・オリエンテーション
- ・挨拶について
- ・組織人としての意識
- ・病院における個人情報の保護について
- ・リハビリ関連 診療報酬制度
- ・日常のマナー、身だしなみについて
- ・連携の重要性と連携のとり方
- ・専門性と連携について
- ・感染症対策について
- ・新人職員に期待すること
- ・当法人「私たちの誓い」の理解
- ・リハ部門のミッションとビジョン
- ・リハビリテーションについて
- ・接遇 ホスピタリティ
- ・自己管理の重要性（プロとしての第一歩）
- ・「報告・連絡・相談」の方法と重要性について
- ・PT、OT、ST それぞれの立場から

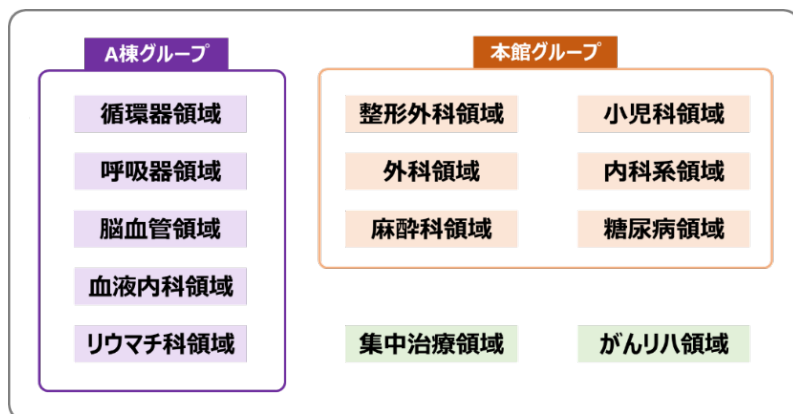


合同教育研修の様子

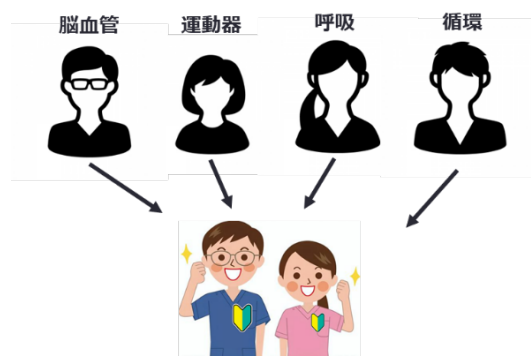
3. 各領域班・チームの見学（太田西ノ内病院にて）

以下の各領域班・チームを1～2週間程度、見学します。

見学を通して、先輩スタッフや患者さんとのコミュニケーションを図り、日常業務や各病棟の雰囲気を感じることで、勤務に少しずつ慣れていければと思います。



グループ構成図

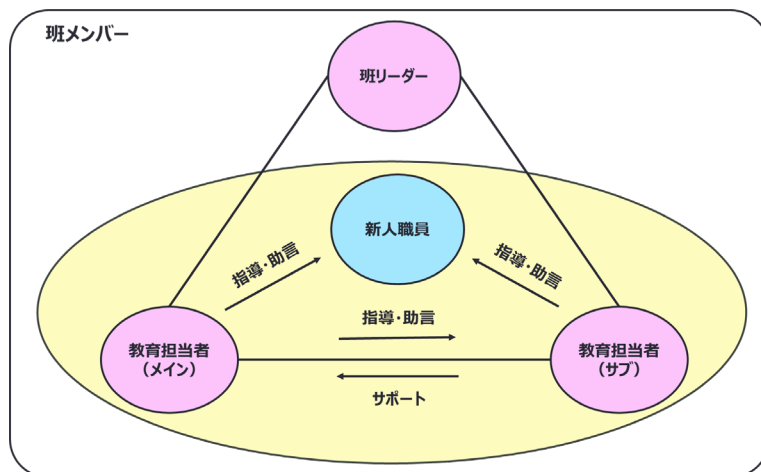


▶5月以降（就職して1～3年目）

4. いよいよ、班（チーム）に配属されます

教育系のスタッフから「新人教育」に関するオリエンテーションを受け、その後、配属された班で具体的な内容について説明を受けます。配属された班では教育担当者や班リーダーを中心に、チームスタッフのみなんで、新人職員の教育サポートを行なっていきます。

- ✓ 新人職員（教育を受ける立場）
：臨床経験 1～3 年目
- ✓ 教育担当者・指導者（教育を担当する立場）
：メイン；臨床経験 6 年目以降
サブ；臨床経験 4～5 年目



* 配属期間：6 か月間程度

- ・1 年間に 2 つの班（チーム）に配属されます。
- ・就職後 1～3 年目の期間に、あらゆる班を経験することができます。

例) 整形外科領域 → 呼吸領域 → 循環領域 → 脳血管疾患領域 → 内科系領域 など

【新人教育の到達目標】

就職して3年目までに独立して臨床ができるようになる（知識・技術・社会的な側面を踏まえて）。

〈独立するとは？：当院で考える例〉

- ✓ 自分自身で分からない所（できないこと）を客観的に把握できる。
自ら進んで調べ、第3者に意見を求めることができる。
日々アップデートしていける。
- ✓ 助言がなくても、遂行できる。（独りよがりにならないように）
- ✓ 他人の意見を受け入れ、吸収できる。（しなやかなマインドセット）
- ✓ 広い視野でものごとを考えることができる。
他人の意見も踏まえ、自分自身で自己決定に至れる。
- ✓ 行っているアプローチや手技に関して、理由を踏まえ説明ができる。
- ✓ 自分が思う（考える）意見が言える。

■ チェックリストの活用した新人教育の実際

- ・ 日常業務、臨床場面での悩みや疑問などを教育担当者や班リーダー、チームスタッフに相談しながら取り組むことができます。
- ・ 臨床場面において必要な基礎的知識の習得のために、当院では各領域専用のチェックリストを活用しています。

- ✓ 基本的にはチェックリストの内容に関して口頭試問＋模範関連資料に加え、文献、ガイドライン、教科書なども用い、疑問点や臨床に関する知識を確認・指導します。
- ✓ 実際の症例と照らし合わせて、臨床疑問の解決に向けた指導を行います。
実技練習なども実施し、また新人職員と教育担当者の臨床推論を照らし合わせながら、疑問の解消を図り、患者介入に繋がっていきます。



チェックリストを活用して、基礎的知識習得が得られているかどうかを確認します。

例) 脳血管疾患領域のチェックリストの一部

理学療法科 教育プログラム 脳血管疾患 各評価項目		教育者①	教育者②
1	ブルンストロームステージの上肢・手指・下肢それぞれの判定基準と、判定の方法を説明出来る。		
2	Trunk Control Test (TCT) のテスト項目、採点基準が説明出来る。		
3	錐体路の経路を説明出来る。		
4	表在覚・深部覚の検査方法と、検査時の注意点が説明出来る。		
5	表在覚・深部覚の伝導路を説明出来る。		
6	筋緊張評価時の評価要素（4つ）を説明出来る。		
7	痙縮と固縮の違いを説明出来る。		

〈各領域のチェックリスト〉

○脳血管疾患 ○運動器 ○呼吸 ○循環 ○内科系 ○集中治療領域 ○小児 ○がんりハ

■ ルーブリック評価表を用いた新人教育の実際

当院では学習の達成度（到達度）の効果判定の一環としてルーブリック評価表を用いています。到達目標や評価基準のレベルを明確にすることで、新人教育担当者と新人職員が統一した見解で学習を進めることができます。

例) ルーブリック評価表の一部

1. 患者さんに寄り添い、信頼関係を築き、心身の回復に貢献できる 【専門職・組織人としての基本姿勢と態度】							
分類	到達目標	到達目標の達成度：4段階評価					備考
		4：模範レベル	3：自立レベル	2：監視レベル	1：要指導レベル	全体研修	
理学療法士として責任ある行動と多職種連携の役割の理解	1 医療倫理に基づき、人間の尊厳を尊重して行動することができる	「倫理綱領」に基づいた行動について指導ができる	「倫理綱領」を理解しており、確認をせずに行動ができる	「倫理綱領」を確認した行動ができる	「倫理綱領」に基づいた行動に指導を要する	<input type="checkbox"/>	「倫理綱領」は理学療法士協会HPを参照
	2 対象者・家族に対して節度を持った言葉遣いで接することができる	対象者・家族に対し正しい敬語を使用し接することについて指導ができる	対象者・家族に対し正しい敬語を使用し接することができる	助言を受け、対象者・家族に対し敬語を使用し接することができる	正しい敬語が使用出来ず、指導を要する	<input type="checkbox"/>	正しい敬語は全体研修を参照
	3 対象者・家族が理解できるように説明することができる	対象者・家族に分かりやすい説明をすることについて指導ができる	対象者・家族に分かりやすい説明をすることができる	助言を受け、対象者・家族に分かりやすい説明をすることができる	対象者・家族に分かりやすい説明をすることに指導を要する	<input type="checkbox"/>	専門用語を用いることなく説明を行う
	4 対象者のプライバシーおよび個人情報を保護することができる	対象者のプライバシー、個人情報に配慮した実施場所の選定、会話内容、声量に配慮した行動について指導ができる	対象者のプライバシー、個人情報に配慮した実施場所の選定、会話内容、声量に配慮した行動ができる	助言を受け、対象者のプライバシー、個人情報に配慮した実施場所の選定、会話内容、声量に配慮した行動ができる	対象者のプライバシーおよび個人情報を保護が不十分で指導を要する	<input type="checkbox"/>	りハ中の声量や会話内容に個人情報（年齢、住所、疾患名等）を含まないように配慮すること
	5 対象者・家族の話を傾聴しコミュニケーションをとることができる	対象者・家族の話を傾聴しコミュニケーションをとることについて指導ができる	対象者・家族の話を傾聴しコミュニケーションをとることができる	助言を受け、対象者・家族の話を傾聴しコミュニケーションをとることができる	対象者・家族の話を傾聴しコミュニケーションをとることに指導を要する	<input type="checkbox"/>	


▶院内研修・学会参加など

- 当院では多くの院内研修が行われ、自己研鑽の機会となると思います。
- 太田西ノ内病院、太田熱海病院、老人保健施設桔梗の2病院1施設のPT部門全体での研修会なども行われます。
- 症例検討会ではご自身の関わりを「振り返る」、「まとめる」、「相手に伝える」機会となり、患者さまへのより良い関わりに繋げていきます。
- 院外の学会参加を推奨しており、学会発表（抄録の書き方、スライド作成、発表のコツなど）に関するサポートを全面的にさせていただきます。

▶当院の教育に関する学会発表の例

第11回 日本理学療法教育学会学術大会


**当院におけるチェックリストを活用した
新人教育指導の実践**
～多領域の基礎的知識習得と標準的指導による臨床実践能力の向上に向けて～

 太田綜合病院附属 太田西ノ内病院
総合リハビリテーションセンター 理学療法科

◎渡邊純平、笹本雄一郎、佐久間達也、石附春樹、常松大起
柳沼隆之、武藤晶、小林美弥、武田純一

第11回 日本理学療法教育学会学術大会

**当院新人教育における
ルーブリック評価表の導入**
～臨床実践能力の到達度判定～

 太田綜合病院附属 太田西ノ内病院
総合リハビリテーションセンター 理学療法科

◎常松大起、笹本雄一郎、石附春樹、佐久間達也、渡邊純平
柳沼隆之、武藤晶、小林美弥、武田純一

**クリニカルクラークシップへの移行と
臨床教育者アンケートから見た現状と課題**
～当院の臨床実習体制について～

一般財団法人 太田綜合病院附属太田西ノ内病院 理学療法科
◎常松大起、高田圭一、笹本雄一郎、柳沼隆之、佐久間達也

**当院におけるリハビリ関連職種との
連携強化に向けた取り組み**
～リハビリ関連職種合同での研修会を通して～

一般財団法人太田綜合病院附属太田西ノ内病院
総合リハビリテーションセンター 理学療法科
◎渡邊純平、笹本雄一郎、常松大起、柳沼淳、佐藤菜々